

<p>第11号 平成21年9月</p>	<p>もう一つの道 情報は、うのみにせず、注意深く徐々に試してください。</p>	<p>山田整骨院 熊本市出水4-25-1 096-364-7611 http://yamadasu.com/ E-mail:yamadasu@opal.ocn.ne.jp</p>
-------------------------	-----------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

世界柔道学会発表のご報告

8月22日(土)熊本発、成田に1泊して23日11:15出発し、同日アムステルダム空港16:10着(時差7時間)、19:00ロッテルダム到着、24日視察、25日発表、26日慰労、懇親会、27日アムステルダム12:45発、同日チューリッヒ空港14:10着、列車乗り継いで午後8時スイスアルプス山麓ミュレン着、泊り、28日ロープウェイで標高3千メートルのシルトーン到達、12:00ミュレン発、17:00チューリッヒ着。38年前働いたレストラン「レストラード」探しましたが、なくなっていました。泊り。29日12:05チューリッヒ発、13:45アムステルダム着、同15:00発、30日9:40成田着、18:40熊本着。無事帰ってきました。25日のポスター発表では10ヶ国以上の方から質問を受けましたが、大体理解して貰った様なので、うまく説明できたと思っています。5月から発表の準備にとりかかり、疲労や緊張感などから、現地では朝早く目が覚めて睡眠不足となり、体調をくずして3キロ体重が減り、同行の方々に心配をかけてしまいました。こういう時は水だけ飲んで、食べなければ体調は回復しますので、見かけはやつれましたが、私自身は心配していませんでした。

西医学の血液循環の偉力を再認識

今回の発表の主旨は毛細血管でなく、動静脈吻合という側副循環を使えばいかに速く血液が流れ、ケガを早く治癒するかということでしたが、発表する以上完全に理解しなくては行けないと、改めて勉強し直して、その動静脈吻合の働きの意味の深さに、驚愕しました。何故なら体調不良のほとんど全ては血液循環の悪さから来るからです。悪い部分には老廃物や毒素の多い血液が滞っています。そのような血液をとり除き、栄養や酸素の豊富な新鮮な血液をそこへ送れば悪い組織は良い組織に変わっていきます。それには血液循環を良くすることが必要で、とりわけ側副循環を使う血液循環がとび抜けて速いということが分かりました。すなわち、病気を予防するのも、治療するのも、動静脈吻合を活用することが重要だと改めて分かった訳です。

今回世界柔道学会へ行って良かったこと

1. 3年位前から日本独自の柔道整復師（骨接ぎ）と西式健康法を、必ず世界の人々の役に立つと確信していましたので、世界に発信したいと思っていました。その夢がかない、本当に嬉しいです。イギリス、スウェーデン、オランダ等の人達と親しく話し合うことができ、連絡先を教えあい、今後も情報交換できるようになりました。
2. 無事学会が終わり、関係者の慰労会、懇親会が設けられ、特別ゲストとして東京オリンピック柔道無差別級金メダリスト、アントン・ヘーシンク氏、及び熊本が誇るオリンピック金メダリスト山下泰裕氏が招待され、親しく歓談できました。お二人とも心配りが細やかな方で、全然偉ぶった所がなく、出席者一同心から楽しみました。ヘーシンク氏も楽しかったのでしょう、「有楽町で会いましょう」を何度か唄われました。山下氏も興が乗って、外国人の同席者のために英語でジョークをはさみながらスピーチされました。
3. 再びヨーロッパの土を踏むことができました。1970年5月から1年半ヨーロッパで過ごして以来39年ぶりの欧州行きでした。スイスに入ってから、列車の時刻表の問い合わせ、市内電車トラムの乗車券の購入、レストランでの注文等、全部自分でしなくてはならず、その分緊張もし楽しくもありました。列車移動時の他の乗客とのさりげないやりとり等、普通の行動が現地に溶け込んだようで心地良かったです。
4. 妻をヨーロッパへ同行できました。
妻にとっては初めてのヨーロッパでした。何でも楽しかったようです。2階建ての列車、ものすごく天井の高い中央駅、電柱のない綺麗な街並、映画で見るようなオープンカフェでの喫茶、たくさんの種類のパン、生ハム、青りんご。顔が輝いて、若くなっていました。

最後に

長期間休院して皆様にはご迷惑をおかけしました。今まで以上に一所懸命勉強して、内外の情報をとり入れ、より良い治療、健康指導に努めたいと思っています。